

## 2023 年度 第2回理事会議事録

日 時 令和5年(2023年)9月19日(火) 19:00~20:15

出席者 阿部 修、内田幸司、江田哲男、岡本和也、熊代正行、高橋順士、高橋光幸、  
寺田理希、土井 司、沼野智一、泰 博文、山崎 良、吉丸大輔、錦 成郎(監事)

委 任 鈴木雄一、菊地克彦、 (14人)

### 1. 第19回磁気共鳴専門技術者認定試験の準備状況

#### (1) 会場と受験申込者

1) 開催期日 2023年10月22日(日) 12:40~15:40

2) 試験会場 東京) 東京都立大学荒川キャンパス(東京都荒川区東尾久7-20-10)  
大阪) 難波御堂筋ホール ホール6(大阪府中央区難波4丁目2-1)

3) 受験申請者 東京会場192人、大阪会場196人(8月31日締切)

増席に伴って会場変更希望を受付けた → 東京会場204人、大阪会場182人

#### (2) 書類審査結果と受験者の認定

書類審査未合格者 約10人

事例 ①T1値の計測グラフが折れ線グラフになっている。

②グラフ用紙が添付されていない。片対数グラフを用いていない。

③撮像条件の記載がない。考察がない。 など

#### (3) 受験番号

東京会場1~204番 大阪会場1~197番

書類審査不合格者および欠席者の受験番号はヌケとなる。

#### (4) 第19回磁気共鳴専門技術者認定試験の作成状況

##### 1) 認定試験作成委員会(JSRT 東京事務所)

第1回 2023年7月16日 問題を協議し、それを基に修正することになった。

第2回 2023年8月12日 問題を再協議し、改めて修正することになった。

##### 2) 認定試験問題監査委員会(Zoom)

第1回 2023年7月28日 事前の申し合わせ事項に則って審査した。

第2回 2023年8月22日 多くの修正箇所があった。

第3回 2023年9月5日 全80問の再審査を行った。

##### 3) 今後の予定

コアメンバにて80問の試験問題の難易度を元に出題問題の50問を選定する。

2023年9月末を目途に最終の試験問題を作成する。

(5) 認定試験の実施について

1) 第19回認定試験実行委員会の編成 (○印 運営責任者)

東京会場 ○江田哲男、菊地克彦、鈴木雄一、高橋光幸、沼野智一、秦 博文  
吉丸大輔、上山 毅、北川 久、福澤 圭 (10人)

大阪会場 ○内田幸司、土井 司、山崎 良、竹森大智、立石宗一郎、  
垂脇博之、山谷裕哉 (7人)

2) 会場の感染対策

会場スタッフならびに受験者はマスクの着用を必須とする。

受験者の非着用者には、受付時に着用を促す。私語は慎むように通知する。

体温測定は行わない。体調管理は自己責任でしていただく。

3) 試験プログラム

試験会場開場 12:30

認定試験 (1) 13:15~14:15 基礎物理, 撮影技術, 応用技術, 読影技術など

(2) 14:30~15:30 保守管理, 安全性, アーチファクト, 解剖など

4) 試験後のスケジュール

試験問題検討委員会 (問題作成委員会) 採点后速やかに開催する。

合格者 (認定者) の承認 11月下旬 (第3回理事会)

認定証の送付 12月下旬

## 2. 第14回 MR 医療安全管理セミナー

(1) 期日 2023年12月2日 (土) 12:50~17:35 受付開始 (現地) 12:20

2023年12月3日 (日) 医療安全セミナー確認テスト (web) 約1時間

(2) 会場 ビジョンセンター品川 2F 201 (収容人数: 机45台2人掛けで90人)

(3) 定員 現地参加 50人、web 300人 機構のzoomを使ったハイブリッド方式

(4) 受講費 1000円 (更新講習として受講する場合は無料: 更新費用に含む)

(5) ポイント 更新講習会としての参加は0ポイント、それ以外は10ポイント

(6) 申込期間 2022年10月1日 (日) ~ 11月24日 (金)

(7) プログラム

1) 13:00~13:30 [講義] 医療安全の本質を考える 高瀬会高井病院 土井 司

2) 13:30~14:30 [講義] 体内装着品へ安全対応と考え方 北里大学病院 小見 正太郎

3) 14:50~15:50 [講義] 体外装着品の安全対応と考え方 東千葉メディカルセンター 坂井 上之

4) 16:00~17:00 [講義] 心臓植え込み型電気的デバイス(CIEDs)の対応と安全体制

山形県立新庄病院 矢部 邦宏

### 3. 肝 MR エラストグラフィ講習会

#### (1) 第 2 回肝エラストグラフィ講習会の評価

##### 1) 参加者からの意見

満足度調査で全員が「満足した」もしくは「どちらかといえば満足した」を選んだ。

参加者からは、非常によい環境で有意義な研修を受けたとの高評価の意見が多かった。

##### 2) 講習会スタッフからの意見

今後も少人数制での実施が望ましい（8名×2班）。

都立大は2回/年程度の頻度であれば今後も実施可能、スタッフも今後も対応可能。

##### 3) MR 医学会との連携

肝 MR エラストグラフィ講習会の開催実施状況を吉満先生に報告し情報を共有した。

#### (2) 第 3 回肝エラストグラフィ講習会の計画

1) 期日 2024年2月23日（祝・金）9:45～16:15

2) 会場 東京都立大学荒川キャンパス図書館棟 2F MRI 室

3) 募集人数 16名

4) 申込期間 2024年1月1日（木）～ 2024年2月5日（第2月曜）

5) 申込方法 Google フォームによる申し込み

### 4. 専門技術者認定の更新要件とインシデント報告

#### (1) 報告制度の通知

2023年9月11日（土）12:00 に磁気共鳴専門技術者に一斉通知をした。

#### (2) 入力フォーム

RacNe の認定更新申請のページに 2023 年から過去 5 年分について回答できる。

実質的に回答義務が生じるのは 2023 年から（2022 年は任意）。

選択肢の 5 項目について、不明確な部分があるので修正する。

##### ① 日本磁気共鳴医学会の報告サイトに入力した

注 1) 1 事例につき 1 つの報告としてください。

注 2) 同施設の他の専門技術者が報告した場合も①を選んでください

②施設内の医療安全委員会等に報告した（外部には報告できない）

③インシデントは発生したが報告していない

④インシデントは発生しなかった

⑤施設に MR 装置を保有しない

注) 現在 MRI 装置を担務していなくても、同施設の他の MR 専門技術者が報告サイ

トに入力した場合は①を選択してください。

(3) 日本磁気共鳴専門技術者更新制度細則の追記・修正

4. 更新対象

安全管理講習会の受講

収集ポイント（A 群：学術研究成果，B 群：自己研鑽成果）の 2 種とする。

【追加】 インシデント状況の報告

5. 更新方法

(1) 構成 7 団体のいずれかに継続して在籍している。

(2) 認定後 3 年以降 5 年までの間に指定する MRI 安全管理講習会を受講する。

(3) 収集ポイントを 5 年間で 100 ポイント以上を取得する。

【追加】 (4) 認定後 5 年までの間に毎年インシデント状況を報告する

(4) 効果

9 月 11 日に広報してから本日 19 日までに 100 件を超える入力があった。

5. 認定研究会への zoom の解放について

(1) 申込状況

申込件数：5 件

(2) 今後の予定

予定通り、2024 年 4 月から申込間隔を 1 週間にする。

6. その他

(1) 事務用パソコンの更新について

ホームページ更新や庶務関連ならびに経費のやりとりをしている PC が不調になった。

庶務業務をストレスなくこなせるようにハイスペックの PC に更新した。

(3) 第 3 回磁気共鳴専門技術者認定機構理事会の開催期日

2023 年 11 月中旬～下旬 web 会議（あらためて日程調整をする）

以上